

Mémoire 2024

第84回 皐月賞(GI)



思いとともに ジャスティンミラノ

亡きジョッキーの想いを背に、驚異的なレコードで戴冠を果たした。発走直前にダノンデサイルが跛行で除外となり、17頭で行われた一戦。1番人気には史上初めて牝馬としてホープフルS(GI)を制し、今度は76年ぶりの牝馬の皐月賞制覇を目指すレガレイラが推された。レースは毎日杯を逃げ切ったメイショウタバルが、1000m 57秒5という空前のハイペースで引っ張る展開に。直線、朝日杯フューチュリティSを制して2023年度JRA賞最優秀2歳牡馬に選ばれたジャンタルマンタルが好位から早々と抜け出し、押し切りを狙う。これを追うのが、道中は4、5番手を追走してきたジャスティンミラノと、中団から一気に外を追い上げてきたコスモキュランダだった。

併せ馬のような形で迫る2頭が、ゴール前でついにジャンタルマンタルを捉える。先に前に出ていたジャスティンミラノが、最後までコスモキュランダに並ばせることなくクビ差で先着を果たした。1分57秒1は、古馬のレースも含めた圧巻のコースレコードだった(当時)。

新馬、共同通信杯とデビュー2連勝中だったジャスティンミラノは、グレード制導入後では11頭目となる無敗の皐月賞馬に。キャリア3戦

目の戴冠はソールオリエン스에並ぶ戦後最少となった。

ジャスティンミラノの調教パートナーは、普段から友道康夫厩舎の調教を手伝う藤岡康太騎手が務め、追い切りにも跨っていた。しかしその藤岡康太騎手は、落馬事故による負傷でレースの4日前に亡くなっていた。友道調教師は「『1週間としては最高の追い切りになりました』と言っていたのが、彼と交わした最後の言葉になってしまいました。この勝利は彼のおかげです」と涙を流した。

戸崎圭太騎手も「最後のこの差は、康太が後押ししてくれたと思っています」と言葉を詰まらせながら強調。天国の藤岡康太騎手へ、最高の報告といえる勝利となった。

第84回皐月賞(GI)

4/14 中山競馬場 2000m(芝・右) 晴・良 17頭									
着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/育種	人気	通過順位
1	ジャスティンミラノ	牡	3	57	戸崎 圭太	友道 康夫	R1:57.1	②	⑤⑤④④
2	コスモキュランダ	牡	3	57	J.モレイラ	加藤士津八	クビ	⑦	⑨⑧⑨⑧
3	ジャンタルマンタル	牡	3	57	川田 将雅	高野 友和	1/2	③	③③③②
4	アーバンシック	牡	3	57	横山 武史	武井 亮	1 1/2	⑥	⑬⑬⑬⑩
5	シンエンペラー	牡	3	57	坂井 瑠星	矢作 芳人	クビ	⑤	⑧⑧⑦⑥

ジャスティンミラノ
栄光の蹄跡

13

キズナ
ジャスティンミラノ
マーゴットデイド(Exceed And Excel)
2021.4.9 生 安平・ノーザンファーム



牡3
戸崎 圭太
1980.7.8 生 B型
57
三木 正浩氏
友道 康夫(栗東)

2024.2.11 東京
共同通信杯GⅢ
10ト 4人 1(114)
57*。 戸崎 圭太
芝1800良 1:48.0

2023.11.18 東京
メイクデビュー東京
14ト 2人 1(—)
56*。 T.マーカンド
芝2000良 2:02.0

